

# 静岡大学未来創成基金 活動報告書 2024

## ご寄附の方法

### □ ゆうちょ銀行、郵便局、三井住友銀行窓口でのお振込み

指定の払込取扱票に必要事項をご記入の上、ゆうちょ銀行、郵便局または三井住友銀行店舗の窓口でお振込みください。  
お手元に払込取扱票がない場合は、お手数ですが、静岡大学 広報・基金課基金係までお問合せください。

### □ インターネットからのお申込み

静岡大学未来創成基金ウェブサイトより、下記の方法でお申込み頂けます。  
クレジットカード決済 コンビニ決済 Pay-easy(インターネットバンキング決済)



### □ リサイクル募金によるご寄附

古本・DVD・ブランド品などをリサイクルし得られたお金が、寄附項目“大学運営全般”として寄附され、本学の教育研究活動や学生支援などに役立てる取り組みです。リサイクル品の回収は、WEB・お電話からお申込みいただけます。詳しくは右記QRコードよりリサイクル募金のウェブサイトをご覧ください。



2024年度は487点  
63,893円のご寄附となりました

### □ 遺贈によるご寄附

遺言によるご寄附を希望される方は、静岡大学広報・基金課基金係までお問合せください。

## 寄附特典

### ■ ご寄附の累積額に応じた謝意の表明と特典

特典	個人	法人及び団体
芳名板の静岡キャンパス及び浜松キャンパスでの掲示	10万円以上	200万円以上
上記に加え、感謝状及び記念品の贈呈	50万円以上	500万円以上
上記に加え、大学の催し物へのご招待	500万円以上	1,000万円以上

※特典は予告なしに変更することがあります。



### ■ ご寄附いただいた全ての皆様への謝意の表明と特典

静岡大学広報誌「SUCCESS」の送付(1回のご寄附につき原則2回)

静岡大学未来創成基金ウェブサイトへのご芳名掲載

※ご芳名の掲載・掲示を希望されない方々につきましては、掲載・掲示いたしません。

### ■ 紋綬褒章

紋綬褒章は国の褒章制度のひとつで、公益のために、私財(個人は500万円以上、法人等は1,000万円以上)を寄附した方に授与されます。本学では、寄附者様のご意向を確認させていただきます。

※国の審査があります

### ■ 税制上の優遇措置

個人からの ご寄附	静岡大学未来創成基金へのご寄附の全てが、所得控除の対象になります。 「修学支援事業」、「研究等支援事業」へのご寄附は、税額控除の対象になります。 お住まいの都道府県・市町村によっては、個人住民税の控除が受けられます。詳しくは、お住まいの都道府県・市町村にお問合せ願います。
法人・団体からの ご寄附	静岡大学未来創成基金は、法人税法上の全額損金算入を認められる寄附金(法人税法第37条第3項第2号)として財務大臣から指定されております。 お寄せいただいた寄附金は、法人の所得から控除され、税法上の優遇措置を受けることができます。





## 静岡大学の活動に対してご支援を賜り、誠にありがとうございます。

本学は、「自由啓発・未来創成」の理念のもと、静岡県に立地する総合大学として、地域の豊かな自然と文化に対する敬愛の念をもち、質の高い教育、創造的な研究による人材の育成を通して、人類の未来と地域社会の発展に貢献することを目指しています。

今年度は、学生支援の一環として、いただいた寄附金を活用した「100円朝食プロジェクト」を実施し、のべ1,800人の学生に朝食を安価で提供することができました。早朝のキャンパスでは、早起した時間を有効活用して勉学や研究、課外活動に励んだ学生が多くみられ、学生からは寄附者への感謝の気持ちが多く寄せられました。今後も本学学生達の大学生活が充実するような支援を行ってまいります。

また、2025年は、教育学部創基150周年、電子工学研究所設置60周年、情報学部創設30周年と、節目を迎える年です。記念事業を通して、教育・研究の環境整備、質の向上を目指してまいります。

本学では「静岡大学未来創成ビジョン」を策定し、新たな9つの目標を達成するとともに、県全域との共創により「オール静大」でポストSDGsを見据えた地域課題解決に取り組み、世界に展開することを宣言いたしました。皆様からのご寄附は、幅広い支援事業を通じて、引き続き社会に還元していく所存でございます。本学への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



静岡大学長  
日 話 一 幸



# 静岡大学未来創成基金 2024年度のご報告

皆様の温かいご支援ご協力に、心より感謝申し上げます。

静岡大学未来創成基金にご支援いただきありがとうございます。

2012年度創設から2024年度までの静岡大学未来創成基金へのご支援累計は以下のとおりとなりました。

**累計総額 876,420,894 円 | 累計総件数 8,999 件**

(2012年度創設~2024年度)

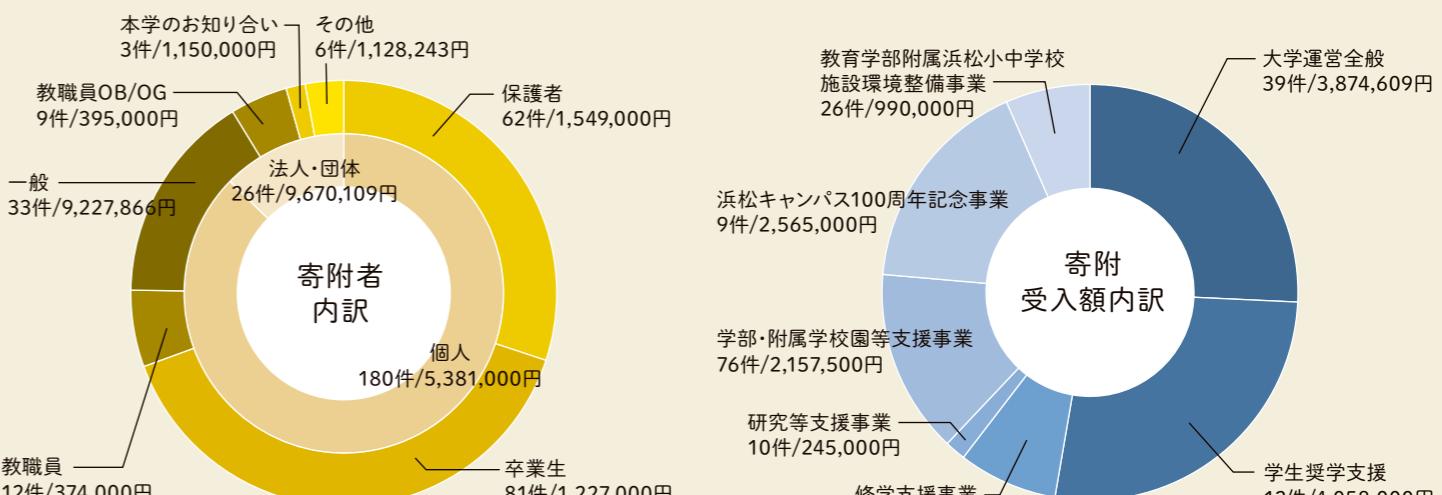
### 寄附受入額

寄附受入件数  
(2024年4月1日  
~2025年3月31日)

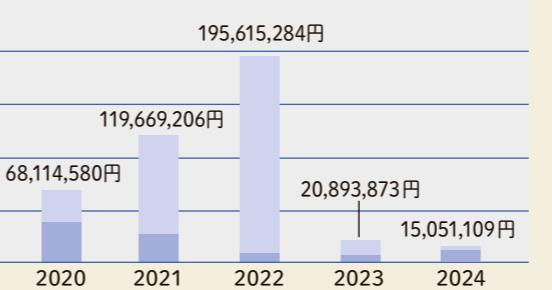
206 件

寄附受入額

15,051,109 円



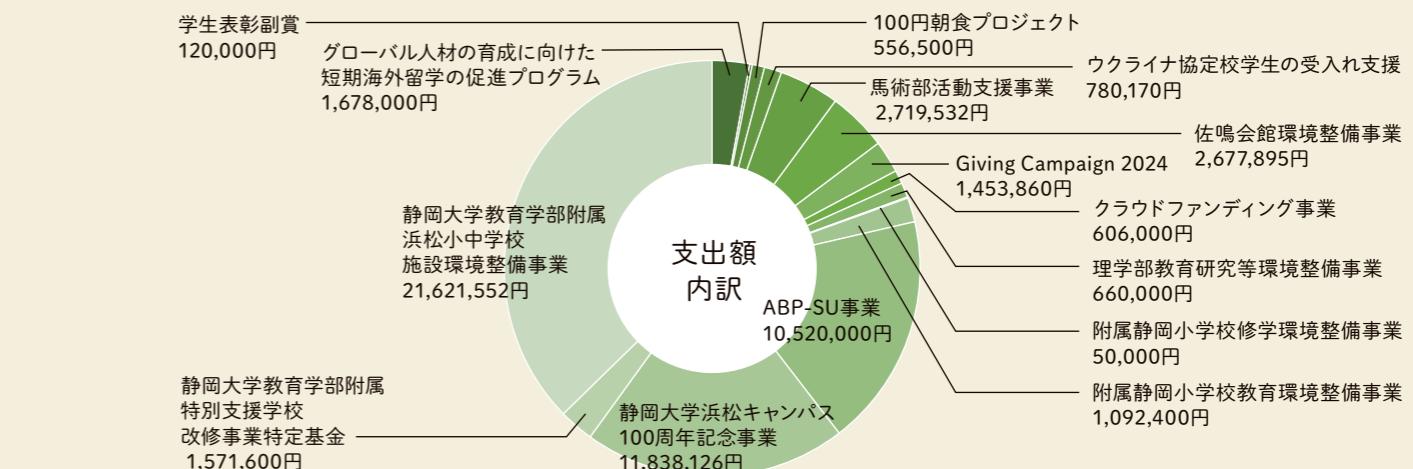
### 寄附受入額の推移(年度別)



### 支出報告

支出合計 (2024年4月1日~2025年3月31日)

57,945,635 円



ご支援を  
いただきました皆様に、  
改めて深く感謝  
申し上げます。



# 6つの項目から選んでご寄附いただけます。

静岡大学未来創成基金は、学生支援、研究・教育活動、国際交流の充実、環境整備を支援するために設置されました。2012年度から卒業生や地域の皆様より多大なご支援を賜り、本学の幅広い活動に活用させていただいている。

2024年度も皆様のご寄附で、さまざまな事業を行うことができました。  
学生たちの感謝の声とともにご紹介します。



大学運営全般



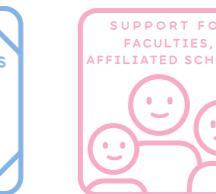
学生奨学支援



修学支援事業



研究等支援事業



学部・附属学校園等  
支援事業



特定基金事業



大学運営全般

学術研究支援、国際交流事業、キャンパス整備等の  
大学運営全般に広く活用します。

## 学生応援！100円朝食プロジェクト

支援の報告



学生奨学支援

優秀学生に対する奨学金等の援助、課外活動への支援、  
その他学生支援に必要な事業を支援します。



支援の報告

## Giving Campaign 2024

学生の研究活動や課外活動の応援・支援を目的に、活動資金調達を行うイベント「Shizuoka University Giving Campaign 2024」を10月11日(金)から20日(日)に実施しました。Giving Campaign は2021年に始まったオンラインイベントで、参加した学生団体は、期間中に自らの活動についてSNSやOBOGネットワークに発信し、応援と寄附を募りました。期間中に6,009票の応援があり、全体で1,097,000円の寄附が集まりました。ご支援いただきありがとうございました。



修学支援事業

経済的理由により修学に困難がある学生等に対する  
支援をします。【税額控除対象】

## グローバル人材の育成に向けた短期留学の促進プログラム

支援の報告



野中日向実さん  
グローバル共創科学部3年

留学先：オーストラリア ニューサウスウェールズ州 ウーロンゴン大学



大学では英語を話す機会が豊富で、新しい表現や語彙を実践的に学ぶことができました。日常生活では、異なる文化や背景を持つ人々が自然に共に暮らす姿を目の当たりにし、多様性を受け入れる社会のあり方について深く考えようになりました。自分が当たり前だと思っていたことが必ずしも当たり前ではないと気づき、大きく価値観が変わりました。同時に、日本の良さや課題にも目を向けることができるようになりました。これからは、日本で多文化共生を実現するために何が必要かを自分なりに考えていくたいです。



研究等支援事業

学生やポスドク等の若手研究者を支援します。  
【税額控除対象】



学生または不安定な雇用状態にある研究者に対する研究活動費用の支援や研究者としての能力等の向上を目的とした交流の促進などの事業を行います。競争力のある研究の推進や世界で活躍する人材の育成のため、ご支援のほどよろしくお願いします。





## 学部・附属学校園等支援事業

ゆかりのある学部・研究科・附属学校園を指定して寄附いただけます。

支援の報告

### 【工学部】佐鳴会館の改修

学生の課外活動や、オープンキャンパス、入試などで使われている佐鳴会館のテーブル・フロアカーペット・一部音響機器の更新等を行いました。多くのイベントで使われる室内がきれいになり、快適に使えるようになりました。



就職イベントや  
健康診断などで使うときに、  
とても快適です。



### 【附属静岡小学校】寄附者名にちなんだ「松馬文庫」の設置

本校に勤務されていた故松浦幸義教諭のご遺志を受け取った担当学級の卒業生からの寄附があり、教諭の担当していた教科にちなんで、自然科学に関する書籍を購入しました。「松馬文庫」として配架をしています。「松馬」というのは、故松浦教諭の愛称だったそうです。購入が難しい高額な書籍や大型書籍を購入することができたので、早速児童が興味を持ち、真剣に読む姿が見られています。これから学校で大切に読み繋いでいきます。



新しくて面白い本が  
読めてとっても  
嬉しいです！



### 【附属特別支援学校】グラウンド整備

授業や行事で使用するグラウンドの整備を行いました。砂を補充することにより、降雨後、短期間で水がはけるので、以前より早くグラウンドでの授業や行事ができるようになりました。また、降雨後のグラウンド整備を教員が行う必要がなくなりました。



雨が降った後、  
すぐに運動ができる  
ようになった！

支援の報告



## 特定基金事業

特定の使途目的を定め、期間を限定し募集をしている事業です。

募集中



## 静岡大学浜松キャンパス 100周年記念事業

募集期間:2024年6月3日～2026年3月31日



浜松キャンパス100周年  
記念事業ウェブサイト

### ノーベル賞に匹敵するような研究人材の創出のための 卓越した研究人材招へいプロジェクト

2024年度は柳澤特任准教授招へいにより、量子イメージング分野の研究者の採用が実現しました。これにより、今後浜松キャンパスでは従来のイメージング分野を超えた、量子イメージング分野の研究の発展が予想され、これから約100年を見据えた研究分野の拡大や学内研究者とのシナジーによる新研究分野創出などが期待されています。



電子工学研究所 特任准教授 柳澤 啓史 (やなぎさわ ひろふみ)

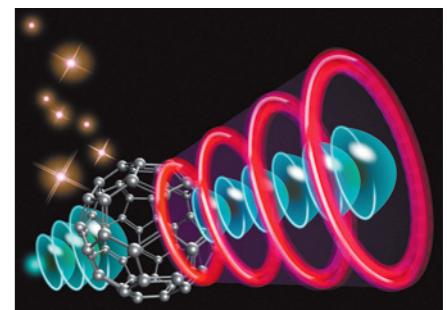
2006年に早稲田大学にて博士号を取得。2007年にヨーロッパに移り、スイスとドイツにて13年間研究活動を行う。スイスでは、チューリッヒ大学にて日本学術振興会海外特別研究員や仁科記念海外研究員として3年間、その後スイス連邦工科大学チューリッヒにてスイス国立科学財団Ambizioneプロジェクトのプロジェクトリーダーとして5年間研究活動を行う。2015年にはドイツのミュンヘン・ルートヴィヒ=マクシミリアン大学、マックス・プランク量子光学研究所に移り、ドイツ研究振興協会のプロジェクトリーダー等を歴任し、国際的に活躍。2020年からさきがけ専任研究員として東京大学物性研究所にて研究活動を行う。2023年8月から現職。

物理学分野で最も権威のある科学雑誌の1つである"Physical Review Letters"に4編の筆頭著者論文を執筆。最近この雑誌に掲載された論文では、70年未解明だった電子が1分子を通過するメカニズムを解明し、Altmetricスコアは175※と大変注目された。

※科学学術雑誌 "Nature" のAltmetricスコア平均は100程度であるため、非常に注目を集めた論文と言える。

### 従来に比べて飛躍的に高速な計算機の実現に向けた 超高速量子デバイス創出の基礎応用研究

現在、1分子観察のための新しい電子顕微鏡の開発を行っています。この顕微技術を基に、現在のパソコンのスイッチより100倍から百万倍速く動作する1分子超高速スイッチの開発を目指しています。特に1分子スイッチの集積化技術に注力しており、1分子のサイズを変えることなくスイッチの集積化を行う技術を開発中です。また私たちの顕微技術は、1生体分子の非破壊観測に応用されることが期待されます。



### 【附属浜松小中学校】給食室の調理機器

附属浜松小学校の新校舎が建設され、中学校でも使用する給食室が新調されました。今まで小学校で使っていた調理機器だけでは、小中の児童・生徒全員の給食量を賄うことができませんでしたが、今回新しく調理機器を購入することで、附属浜松小中学校児童・生徒全員に給食が提供できるようになりました。



給食、とっても  
楽しみだな～